



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第39号
R8.1.16
文責：校長

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち、たくましく生き抜く子どもの育成」

全校書き初め会（1/15）

3～6年生は体育館に集まって毛筆に、1・2年生は教室で硬筆（鉛筆での書写）に、それぞれ取り組みました。いわきっ子たちは、「心は文字に表れる」ということを意識しながら、新年を迎えた今の気持ちを筆や鉛筆に込めて、“全集中”でがんばりました。体育館ではBGM（「春の海」）を流して雰囲気をつくりました。また、この日も岩城地域の習字の先生方をお招きし、助言や講評、審査をしていただきました。

※子どもたちの作品は、ランチルームに1月30日まで展示します。保護者の皆様も閲覧可能です。



～いわきっ子の活躍～

第66回秋田県児童生徒美術展（1/7～10）

《平面の部》

入賞
入賞
入賞
佳作
佳作
佳作
佳作
佳作

《立体の部》

「うみのいきものとうたう」
「おいしいおすしじま」
「ワニの食事」
「おかしの国」
「にじ」
「お茶の温せん」
「夕日と果物の町」
「景色がいいラウンジ」
「水族館」

1年	中	○	澤
2年	伊	○ ○	人
3年	伊	○ ○	春
4年	種	○	理
2年	佐	○ ○ ○	斗
4年	伊	○ ○	尋
5年	加	○ ○ ○ ○	子
6年	長	○ ○	々
6年	池	○ ○	空



全国学力・学習状況調査の結果について

4月に実施された調査（対象：小学6年と中学3年）の「由利本荘市の結果」は前号に載せましたが、今号では「岩城小（6年生）の結果」についてお知らせします。



【教科に関する調査の結果（平均正答率）】

	国 語	算 数	理 科
岩城小			
秋田県			
全 国			

- ・3教科（国算理）とも、全国平均を上回る結果でした。集団としては中位層が多いという特徴が見られます。
- ・国語の「書くこと」の領域では、県平均を大きく下回っています。また、無答率も高めでした。
- ・算数は県平均と同等の結果でした、領域別に見ると、「測定」「変化と関係」における正答率が低めでした。

- ・理科の「エネルギー」の領域では県平均を上回る結果でしたが、「生命」「粒子」の領域には課題が見られました。

【質問紙】

- ・“友達関係を大切にしようとする”“人の役に立ちたい”などの項目で意識が高いという結果だった一方、“平日の勉強時間が1時間以上”と回答した割合が全国平均より低かった他、“平日に読書を全くしない（または10分未満）”と回答した割合が高いなどの課題も見られました。

〈結果を踏まえた学校の取組から〉

- ・正答率が県平均を下回った設問については、同一問題や類似問題を用いた回復指導を行う。
- ・（国語）教材文を要約したり自分の考えをまとめたりする学習活動を重視し、記述する力を高めていく。情報と情報との関連付けを丁寧に扱う。
- ・（算数）聞かれていることは何かを明らかにしたり必要な情報を選択したりする場や時間を保障する。メモりの読み取り方を丁寧に確認する。
- ・（理科）事象について比較検討する場面を工夫する。考察を記述する表現力を高めるために、書き出しを与えたり文型を提示したりする。
- ・（質問紙）一人一人のよさに目を向け、行動を価値付けたりよさを活かしたりしながら自己有用感を高めていく。友達と話し合いながら課題を解決したり自分の学びを振り返ったりする活動を大切に、引き続き子ども主体の授業を目指していく。

家庭学習ノート展示会（～1/19）

冬休み中にいわきっ子たちが取り組んだ「家庭学習ノート」の全員分を、玄関ホールに展示しています。お互いのノートを見合って、これからの自分の取組の参考にしてほしいと思います。保護者の皆様も閲覧可能です。都合がつく場合は是非ご来校ください。※19日までの予定でしたが、21日まで延長します。

学校便り[いわきの子]は、岩城小学校ホームページにも掲載しています。
ホームページでは、学校内外での子どもたちの活動などを、写真を添えて紹介しています。

いのちをまもる われをみがく きづいてうごく